

10804石油製品・石炭製品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	6 ～ 7	工場構内で、業務を開始するため自転車で現場まで移動する際、工場通用門付近の道路と駐車場入口とのT字路を横断するため侵入したところ、右折車両正面と自転車側面が接触して転倒し、右骨盤を折った。	66	6	362	100 ～ 299
2	2020	1	10 ～ 11	焼香炭の成形場所で、灰をベルトでカット装置に搬送している際、ベルトでローラーとの間に灰が付着し、ドライバーで除去しているとき、指が挟まり、そのまま巻き込まれ、左手人差し指を切断した。	39	7	224	10 ～ 29
3	2020	2	15 ～ 16	翌日配達予定のレミファルトを2tダンプに積み込むための準備中、傾斜ベルコンを稼働し、荷受けのため2tダンプ上で待機していたところ、送りローラーに付着している汚れに気付き、ゴム手袋をしたまま左手で拭き取ろうとした。その際、傾斜ベルコンのヘッド部と送りローラーの間に左手が巻き込まれ、左手甲部分を負傷した。	43	7	224	10 ～ 29
4	2020	2	16 ～ 17	当社ガレージ内でプレハブ事務所の増築工事中、脚立に乗って作業していたところ、脚立が滑って足を着く際に右踵をぶつけて骨折した。	76	1	371	30 ～ 49
5	2020	3	17 ～ 18	工場で、高塩素溶剤の仕込作業中、軍手に染み込んでいた溶剤が、左腕の肘から先に付着し薬傷を負った。	28	12	514	100 ～ 299
			9	工場内で製品の取り出し作業中、水が床にこぼれていたため、モッ				30

6	2020	9	～ 10	プで拭き取っていたところ、足下が滑り転倒して腰部を打撲した。	41	2	416	～ 49
7	2020	9	～ 18	ごみを廃棄するため、センター建屋前の廃棄集積場に集積用のカゴが連なっており、その溝に足がつかずいて転倒し、左足甲を剥離骨折した。	47	2	419	～ 99
8	2020	9	～ 16	同僚が新型コロナウイルス感染症の陽性と判明したため、職員全員にPCR検査を行った。勤務中はマスクを着用していたが、当該職員も陽性と判明した。	24	90	911	～ 499
9	2020	9	～ 19	同僚が新型コロナウイルス感染症の陽性と判明したため、職員全員にPCR検査を行った。勤務中はマスクを着用していたが、当該職員も陽性と判明した。	48	90	911	～ 499
10	2020	9	～ 17	同僚が新型コロナウイルス感染症の陽性と判明したため、職員全員にPCR検査を行った。勤務中はマスクを着用していたが、当該職員も陽性と判明した。	56	90	911	～ 499
11	2020	9	～ 18	勤務中マスクを着用していたが、PCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明し、発症した。	33	90	911	～ 499
12	2020	10	～ 18	工場内で、横64cm、縦47cm、高さ51cmの段ボール箱（中身は空チューブで重さ約3kg）を2F倉庫から1F工場へ運搬中、階段の途中で足を踏み外し転倒した。その際、左右手首・体左側面足部から顔面に打撲を負った。	49	1	413	10 ～ 29
13	2020	10	～ 3	工場内で、遠心分離機が異常振動しており、機械を緊急停止し、付着物を落とす清掃中、ろ布を持ち階段を下りる際、踏み外して右足首をひねり、右前距腓靭帯を損傷した。	58	3	413	50 ～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。

